

# 仲間を増やそう、幅広く 連帯を強めよう!

日退教通信

No. 349

2014.1

日本退職教職員協議会

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2-6-2 日本教育会館5F  
 発行責任者 竹田邦明  
 TEL 03(5275)2197 FAX 03(5275)2081  
 Email nittaikyo@gmail.com ホームページURL http://www.nittaikyo.com

日本退職教職員協議会 会長 西澤 清



新しい年を迎えました。昨年、安倍内閣はその本質が具現化し日本社会はバネがはじけたように右旋回を始めました。ナシヨナリズムや戦争が平和や民主主義を踏みつづす時代の始まりともいえる年でした。

東電福島原発事故の放射能除染・汚染水流出もままならない、そして核汚染物の処分場も決まらないのに、日本でダメならと安倍政権は原発を発展途上国に売り込む。国内では社会的格差を広げ、貧困者を増大させる「アベノミクス」。でもマスコミの喧伝に

多くの人たちが踊っています。その陰で、日本版NSC、特定秘密保護法と、立て続けに、この国の平和・民主主義のシステムを根本的に変えて、年末には、国民や国会に「韓国への弾薬無償譲渡」が行われました。独裁的に武器輸出三原則がなし崩され、集団的自衛権行使の準備が行われています。沖縄の辺野古米軍基地新設は、3000億円超の札束をまき散らす「アメージノミクス」、肝心要の基地「攻撃」軽減ではゼロ回答です。それでも県知事はOKを出しました。これは沖縄県民の心を踏みにじる暴挙です。その上で安倍首相は、靖国参拝を強行し、世界中から、その行為と歴史認識について批判を浴びました。

14年は、決して「新しい装

## 日退教のホームページを見よう!

結成40周年を記念し、ホームページを開設しました。充実した内容で、發文書、写真、速報、通信、各単会のホームページ等たくさん見ることが出来ます。最低でも、月2回程度は開いてみましょう!  
<http://www.nittaikyo.com>です。題字の下段にも、毎号、横書きで記載しています。

「韓国の説明もなく」の戦前回帰の時代」を暴走させてはなりません。戦争を前提にした「攻撃的」平和主義は、ナシヨナリズムを煽り、高齢者、身体障害者など弱者を差別し社会から排除するものだ」と歴史が証明します。今年、社会保障の見直しが始まります。政府の関係機関では社会保障充実とは名ばかりで「削減」ばかりが取り沙汰されています。とりくみを強めなければなりません。

今からでも遅くはありません。日退教のほとんどの会員は、戦争の悲惨さと敗戦後の貧困を知っています。懸命に私たちが努力し、全力で作りに上げてきた「平和な社会と社会保障、生活」をぶち壊すことを許さない運動を進めましょう。

今年、私たちの「共に生きる」連帯をいっそう強めることが必要です。意識的に学習を組織し、「私たちの考え」を多くの人に知ってもらって、会員を増やし、平和・人権・環境を守るための運動を強めましょう。

# 普天間基地撤去、辺野古新基地を許さず!

## — 第4次沖縄交流団報告 —



平川団長 挨拶

沖縄と連帯する日退教第4次沖縄交流団は、11月24日の午後、那覇の教育福祉会館で交流集会



辺野古キャンプ前



四人の報告者

今回の参加者は、中川洋子・山根正子（北退教）、矢田部幸



を行いました。平川団長（副会長）の挨拶の後、全国の会員から集まった60万円のカンパを手交し、そのあと「沖縄の現状」ということで「復帰41年目の沖縄基地、戦争と平和」を沖縄で考える」との内容で、元宜野湾市長の伊波洋一さんが講演を行いました。竹田事務局長の当面の課題の報告後、4人の参加者が各地の取り組みを報告しました。中川洋子さん（北退教）は、ストップ泊原発の再稼働の闘いを、鈴木明さん（宮城退教）は、茨城退教との交流、反原発・沖縄の学習会など、酒井孝生さん（千葉退教）は、仮設住宅（福島）の小中学生を中心に学習支援とための仲間集め（組織拡大）について、平野直比古さん（千葉退教）は、館山における「特定秘密保護法」について考える講演会について報告をしました。

三（秋田退教）、三浦洋一郎（岩手高退）、鈴木明（宮城退）、酒井孝生・山崎建夫（本多慶晴・平野直比古（千葉退）、小野啓一（都高退）、永井光夫（神奈川県高退）、角三外弘（石川県退）、神戸一郎・谷内敬（石川県高退）、竹内彰浩（愛知県教組）、福井英利（徳島退）、平川久江・川口清（福岡県退）、安東正義（大分県退）、竹田邦明事務局長、松淵昂事務局長の21名でした。

2日目は、バスでワールドワークをしました。案内は、沖縄高退の喜友名会長、県退の平安事務局長や役員のみなさんでした。嘉

数高台では元沖縄県教組石川委員長から詳しい説明を受け、普天間基地に入る野高ゲート前では、毎日オスプレイ撤去を求めてデモをしている仲間たちと一緒に小雨降る中を行動し、嘉手納基地、キャンプ・ハンセン、辺野古テント村などに行きました。ちょうど、この日、沖縄選出の国会議員が石破自民党幹事長の説得に屈し、公約を破って普天間基地の県内移設を表明、緊急に県庁前で抗議行動があり、一緒に参加しました。

交流会は、県教育会館で行われ、県教組の皆さん方には、大変お世話になりました。その後の状況は、昨年末には2014年度政府予算を「大変立派な予算だ」と手放して喜んだ仲井真知事も辺野古埋め立てを容認、今後もしばしば戦いが続きますが、再選された稲嶺進名



伊波洋一さん

護市長を支援し辺野古新基地を許さない闘いを続けましょう！

### 辺野古容認許さず

(報告の一部抜粋)

石川県退教事務局次長

角三 外弘

折しも、その日に沖縄の自民党議員全てが辺野古容認をしたという報道が流れた。フィールドワークを終え、那覇の県庁前に行くと、

沖縄の平和市民連絡会の人たちが「公約違反の自民党国会議員は辞任せよ」とビラまきと街頭宣伝を行っていた。その取り組みの迅速さと行動力に感心させられた。

翌日の沖縄タイムス紙の大見出しは「自民5氏、辺野古容認」「公約堅持尻すぼみ」「保守系連鎖反応も」と書かれ、社説でも「公約破棄議員辞職せよ」と糾弾

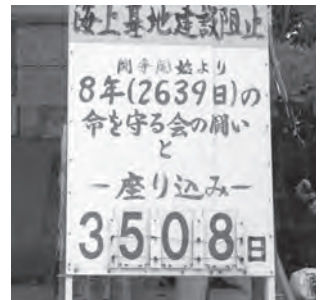
## 特定秘密保護法の廃案を強く求める！

政府、自民・公明与党は、特秘法を衆議院で強行可決し、参議院でも再び強行しようとした。日退教は、平和フォーラムの呼び掛けに対し、事務局と関東ブロックの会員と共に寒い中、座り込みを実施しました(3日間でおよそ30名)。座り込み中のリレートーク



では、西澤会長、竹田事務局長そして千葉・館山退教の平野さんも反対の声をあげました。

この特秘法は、①行政機関の長の裁量でいくらでも特定秘密にすることが出来る②何が秘密にされているかさえない③指定期間は最長60年だが、それを超える例外を認めるといふ欠陥法です。政府は、今年中に施行をめざしていますが、廃案をめざして運動をすすめます。



3508日目の座り込み

している。また、琉球新報には、「自民5氏辺野古容認」「離党迫られ総崩れ」「固定化前面に恫喝」「議員辞職が筋」の大見出し、社説では「犠牲強要は歴史的背信だ。辞職し有権者に信を問え」の見出しで訴えている。沖縄の自民党は、衆院選でも参院選でも普天間の県



砂浜はコンクリートで仕切られ

外移設を公約にして議席を得た。自民党本部も中央と異なるその公約を認めていたのに、選挙が終わると沖縄の自民党を恫喝して公約を変えさせる。公約を変えさせられても国会議員にしがみついていた5人の自民党国会議員は政治家たる資格はない。沖縄の人たちより米国にすり寄る自民党安倍政権、自民党政治家の正体が露骨に表れた。5人を恫喝した石破幹事長の赤ら顔が時代劇の悪代官に重なって見えたのは私だけだろうか。

### 第4次日退教沖縄ツアーに参加して

千葉退教・平野 直比古 昨年に続いて、二回目の参加となったが、今年も学ぶことはとても多かった。前宜野湾市長の伊波さんの



沖縄県庁前で

講演も素晴らしかったし、全国の仲間からの報告も私自身が運動を考える上で、とても良い刺激となった。そして何よりも沖縄の辺野古での継続した闘いには、人が如何に、この日本という国の中で生きていくべきなのかという根源的な問いかけまで、私たちにしているような感じになりました。改めて「学習と交流」の重要性を確認できたこのツアーでした。この企画をされた日退教本部の皆様と、私たちを向かい入れてくれた沖縄の仲間に関心から感謝する次第です。ありがとうございました。

※沖縄第4次報告集は出来上がり次第、各単会と参加者に送りますので、詳細は報告集をお読みください。

# 「憲法理念の実現を」第50回護憲大会

## 「沖繩からの報告」

日退教 寺井 律子

安倍政権が日本を戦争の出来る国に変えようとしている危機的な



状況のなか、護憲・沖繩大会に参加できて本当に良かったです。日本各地で、「憲法理念の実現をめざして」闘っている

る仲間の報告を聞き、頑張ろうと改めて決意出来ました。

沖繩に行つて、毎回思い知らされるのは、「やまと」との温度差です。沖繩では大きく報じられていることが、やまとでは取り上げられないことのなんと多いことか。

沖繩の新聞は、11月1日～18日までの日程で、陸海空3自衛隊(3万4千人の隊員参加)による事実上の離島奪還訓練にあたる実働演習が沖大東島で行われていることを詳しく報じています。新聞をよく読む方だと思つている私ですが、沖繩に行くまでは知りませ

んでした。沖繩の人たちは、「有事」の口実で、安倍内閣は意図的に「有事」を作り出すのではないかという懸念を強く抱いています。再び、沖繩がやまとの捨て石として利用されるのではないかと危機感を抱いています。

沖繩の人が呼びかけます。「みんな声を出そうや。足を運ぼうや」と。集団自衛権行使、特定秘密保護法案など、「戦争のための法改悪」を許さないために行動しましょう。

### 予 告

第43回 日退教総会  
6月10日(火) 11:00

### ◆ 編集後記 ◆

10月末、私としては事実上の初任校である福島県立小高工業高校を4年ぶりに訪れました。震災と原発事故で延びていた創立50周年行事と教職員同窓会に出席するためです。

同校が設置されている南相馬市小高地区は、第一原発から15キロ圏内の居住困難地区のため、仮校舎・実習棟を原町地区に移し、通学可能な生徒だけがここで学んでいます。他地区に避難した生徒は、県内の、いわき市、郡山市、会津地域、福島市、二本松市など、避難先の工業高校を「サテライト校」として通学しています。

現在、原発周辺で居住可能なのは、小高地区、飯館村全域と他の一部を除く相馬地方、双葉郡は川内村と広野町のほんの一部です。これ以外はすべて「避難警戒区域」で、居住は出来ません。

上記「同窓会」では、いくつかの映像が披露されました。そこは、放射線量が高いので、真っ白の防護服とマスクを着けて、倉庫に入ります。本校の現職教員の姿が映されていました。このような実態を見せられて、これだけで私は「原発はコントロールされている」という発言は「妄言」としか思えませんでした。

さらに、私が、平工業高校に転勤となった1965年以後に入学した小高工業卒業生は、1971年から稼働を開始した原発関係にも数多く就職しているとのこと。その人達が今、「廃炉を含めた後処理」に従事していることを思うと、胸が締めつけられます。ただ、ただ無事を祈るだけです。

## 2014年3月までの主な日程

- 1月14日(火) 広報部会
- 1月21日(火) 福祉部会
- 1月22日(水) 地公退 学習会
- 1月23日(木) 組織部会
- 1月29日(水) 男女共生部会
- 2月19日(水) 退連 組織代表者会議
- 2月20日(木) 退連 政策制度要求集会
- 2月27(木)～28日 近畿ブロック宿泊幹事会
- 3月4日(火) 退連 男女平等参画集会
- 3月5(水)～6日 九州ブロック総会
- 3月8日(土) 脱原発集会 福島・郡山・いわきの3か所
- 3月13日(木) 第3回役員会・第2回ブロック代表者合同会議
- 3月15日(土) 脱原発集会 日比谷野外音楽堂
- 3月19日(水) 教職員共済 臨時総代会
- 3月20日(木) 相互共済会 臨時総代会

## カンパ集約中の単会は、出来るだけ2月中に!

第42回総会で沖繩支援、東日本大震災(朝鮮学校支援)カンパにとりくんでから、早7ヶ月経ちました。この間、23単会(県退16、高退7)から入金があり、11月24日には、沖繩退教に平川副代表が60万円、25日には辺野古キャンプで5万円を手交しました。1月に入ってから、沖繩の仲井真知事の辺野古受け入れに怒りを込めて、さらに10万円を送金しました。是非、あきらめることなく運動を強化しなければなりません。

東日本支援カンパは、3月上旬には届けたいと考える日程を調整中ですので、集約中の単会は、2月中に送金をお願いします。